はつらつ体験塾　通信

令和５年度　第１回チャレンジキャンプ号　令和５年７月３１日
新潟県少年自然の家

雨にも負けず、大満足の2日間でした

７月１５日（土）・１６日（日）に、胎内市の新潟県少年自然の家を会場にして、第１回はつらつ体験塾チャレンジキャンプが行われました。「チャレンジキャンプ」の名前通り、チャレンジにあふれる活動内容になりました。小・中学生２３人、学生ボランティア９人、看護師１人が参加したキャンプの様子をお知らせします。

７月１５日（土）

13:00	13:30	13:40	14:30	16:00	17:30	18:30	19:30	21:30
受　付	出会いのつどい	レクリエーション	テント設営	アウトドアチャレンジ	夕　食	たき火体験	お風呂自　由	就　寝（テント泊）

出会いのレクリエーションでは、普通のじゃんけん（グー、チョキ、パー）に必殺技とバリアを加え、計５種類で行う必殺技じゃんけんをしました。いつものじゃんけんよりルールが複雑になりましたが、すぐにルールを理解していろいろな人とじゃんけんをすることができました。

次に、活動班ごとに円になり、「キャッチゲーム」をしました。リーダーの「キャッチ」という合図で隣の子の指を握って、自分の指は握られないように素早く引くゲームです。リーダーの「キャット」や「キャベツ」などのフェイントに惑わされず、とても楽しく活動していました。終わるころには、同じ活動班の子どもと仲間意識が高まったように感じました。

次に、みんなが宿泊するテントの設営を行いました。今回は天候があまり良くないため、外ではなく室内にテントを設営しました。初めてテントを張る子もおり、悪戦苦闘しましたが、学生ボランティアさんの協力もあり、無事に設営することができました。テントの設営が終わると早速中に入っていました。「できたぞー。」「今から寝るのが楽しみ。」などの楽しそうな声があちらこちらから聞こえてきました。みんなで協力して、テントを設営することができました。

アウトドアチャレンジでは、「パチンコ打ち」「バトニング」「丸太切り」の３つの活動を行いました。パチンコで的めがけてどんぐりを打ったり、ナイフを使って薪を割ったり、のこぎりで太い丸太を切ったりと、普段なかなか体験できない活動に、夢中になって取り組みました。

夕食の後は、バトニングで割った薪を使って、たき火体験をしました。自分たちで割った薪に火が付くと、「わーっ！」と大歓声が上がりました。たき火の炎を見ながら１日の振り返りをしたり、マシュマロを焼いて食べたりしました。どの班も、おいしそうな笑顔と楽しそうな笑い声にあふれていました♪

７月１７日（日）

6:00	6:30	7:30	8:00	9:00	12:20	13:00	13:15	１3:30
起　床	朝の つどい	朝　食	テント 片付け	カヌー 海遊び	昼　食 片付け	ふり返り	別れの つどい	解　散

２日目には、みんなが楽しみにしていたカヌーや海遊びをしました。

カヌー組は、ヘルメットやライフジャケットをつけ、操縦の仕方を教えてもらうと、さっそくカヌーに乗りました。どの子もすぐにコツをつかみ、スイスイとカヌーを操縦していました。

海遊び組は、ハゼを狙って船溜まりで釣りをしたり、海岸まで移動して貝殻やシーグラスを探したりしました。数は少ないもののハゼが釣れました。海岸では多くの貝殻やシーグラスを見付けることができました。それぞれが、川や海での活動を全身で楽しむことができました。

悪天候が懸念された週末でしたが、無事にすべての活動を行うことができました。そして何より、看護師さんや学生ボランティアの皆さん、保護者の皆様のご協力があり、今回のはつらつ体験塾も大成功を収めることができました。心から感謝いたします。ありがとうございました。

はつらつ体験塾担当：星野貴之・天木享